



長野白樺ライオンズクラブ

334-E 地区 2R3Z

●第43期● No.156 2017年3月発行

発行責任者/会長 鈴木 秀一

編集責任者/PR委員長 本山 悟師

事務局/〒380-0836 長野市南県町685-2

長野県食糧会館4F

TEL026-235-3977 FAX026-217-2005

おめでとうございます 札幌しらかばLC、CN35周年記念式典に参加して

接待親善委員長 L.竹内 良美

札幌しらかばLCの周年記念式典には幾つもの思い出がある。15周年では会場ホテルの床が揺れるほど迫力あるよさこいソーラン踊りに驚嘆した。20周年では祝宴終了後ススキノ、ラーメン横丁でテレビに映し出された「米国同時多発テロ」。世界貿易センターにジャンボジェット機が突入した衝撃の第一報をラーメンを食べながら、本当に現実の映像なのか信じられない思いで見入ったこと…等。



L.佐藤任男大会長



L.鈴木秀一会長

9月16日の訪問は34名でお世話になり、心温まる手造りの式典、豪華な二次会、そして次の日は、エクスカッション、ゴルフ、最後にビール園で美味しいジンギスカンをいただきました。この度札幌にお世話になり友好クラブって素晴らしいとつくづく感じました。会員減少が続くなか、今後のライオンズライフは必ずしも平坦なものではないが、この友好の火を消してはいけなく、長く継続して行かなければいけない、と強く思い札幌に別れを告げました。

札幌の皆様、おめでとうございます。お世話になり本当にありがとうございました。



サッポロビール園にて



また会う日まで

チャリティーゴルフ大会 盛大に開催

事業福祉委員長 L.小林 克己

10月18日(火)長野国際カントリークラブにおいて恒例の「チャリティーゴルフ大会」が開催されました。183名のゲストの方々をはじめ、29名の当クラブメンバーで総勢212名の皆さまにご参加いただきました。当日は爽やかな秋晴れの中、絶好のゴルフ日和で参加の皆さまは、日頃の練習の成果を発揮されていました。



入場口にて参加者に執行部が感謝のご挨拶



優勝者に会長から賞品を授与

今回は大変大勢の参加者にお集まりいただいたので、景品も数多く用意することができ、皆さまに喜んでいただけたと思います。また、当クラブのメイン事業ということもあり、メンバーの皆さまには大変多くの協賛金をいただき、目標の事業資金を獲得することができました。

当日の運営にもお力添えをいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

チャーターナイト例会報告

PR委員会

9月第二例会の28日にチャーターナイト例会が開催されました。チャーターメンバーを代表してL. 仁科良幸に発足当時の思い出を語っていただきました。また、この日は本年度3Z・ZCのL. 大日方尚も例会訪問でおみえになり、ご挨拶をいただきました。



鈴木会長からチャーターメンバーに感謝の花束贈呈
L. 林謙一郎 L. 飯島昭三 L. 仁科良幸



3Z・ZC L. 大日方尚のご挨拶

子ども・若者育成支援強化月間キックオフイベント YCE・青少年指導・レオ委員長 L. 堀込 哲也

長野県では、平成28年7月7日に子どもを性被害から守ることに特化した「長野県子どもを性被害から守るための条例」が施行されました。本条例では、威迫等による性行為の禁止と深夜外出禁止を禁止項目としてあります。

この条例の周知を図るため、例年11月に全国一斉に実施している「子ども・若者育成支援強化月間」の広報啓発に合わせて11月1日午前7時40分から8時25分まで街頭啓発活動がJR長野駅善光寺口で行われました。

参加者は長野県・警察本部・教育委員会・少年サポーター・ボランティアの方々でした。当クラブからは4名参加いたしました。早朝より大きな声で「おはようございます」と挨拶をしながらパンフレットとティッシュを出動途中の方々に手渡しました。大きな挨拶と笑顔で渡すと「おはようございます」と返していただき快く受取ってくれました。

今回の活動で改めて少年サポーターの重要性を強く感じました。早朝より参加いただきありがとうございました。

南淡LCの皆さまがCN50周年でPR訪問

PR委員会



10月26日、当クラブの第二例会に合わせ、南淡LCの6名の皆さまが長野にお見えになりました。CN50周年記念式典が2017年4月1日に盛大に開催されるとのこと。誠におめでとうございます。代表して、南淡LC所属

で本年度335-A地区3R・1Z ゾーンチェアパーソンのL. 増井健一からご挨拶をいただきました＝写真。

この日は、例会後に懇親会も設定されており、懇親を深めながら4月には長野から多くの仲間がお祝いに伺うことを誓いました。また、L. 増井が平成28年春の褒章で黄綬褒章を受章されたので花束を贈り、皆でお祝いしました。

3Zコミュニケーションボウリング大会に参加して

会員厚生副委員長 L. 加々井 聡

2月18日(土) ヤングファラオにて、2R3Zコミュニケーションボウリング大会が行われました。各クラブ総勢36名の参加者により、和やかな雰囲気の中で2ゲーム楽しんで参りました。

当クラブからは鈴木秀一会長はじめ、L. 飯島昭三、L. 岡宮清吉、L. 加々井聡、L. 高島

陽子、L. 宮下知子の6名がゲームに参加し、副幹事のL. 高瀬直樹が応援に来てくれました。

結果は団体戦準優勝、個人戦ではL. 飯島が4位、L. 岡宮が10位でした。次年度は当クラブがホストクラブですので、みんなで盛り上げて楽しい大会にしましょう。



2R新年合同例会報告 PR委員会

1月13日(金)、長野中央LCのホストで、来賓に阿部守一長野県知事、加藤久雄長野市長をはじめ、武田地区ガバナー他大勢のLC地区役員をお迎えして、盛大に開催されました。

祝辞の中で阿部知事は、「ライオンズクラブとの包括協定が動き始め、大きな成果が出てきている。引き続きライオンズクラブの総合力に期待したい」と話されました。

祝賀会でのアトラクションは、坂城町出身でサクソフォーン演奏家の川島亜子さんがなじみの曲を交え、素晴らしい音色でひと時を和ませてくれました。2R15クラブ370余名の参加者で新年を祝い、心がこもった奉仕活動の実践を誓いました。



LPの会 観劇会 第三副会長 L.高島 陽子

11月2日、LPの会12人を含む総勢17人で、松本市内へ観劇会に行きました。このところ県外コースが続いておりましたが、今回は貸し切りバスにより昼前の出発とゆったりしたスケジュールで計画。まつもと市民芸術館はじめとする近隣エリアの素晴らしい施設や会場に行くことが出来ました。

高畑淳子ほかの熱演した「ゆきまろげ」観賞は、舞台も構成も本格的なお芝居に魅入られました。観劇後の食事懇談会は、古い蔵をリノベーションしたフレンチレストラン「ヒカリヤニシ」で信州産にこだわった料理やワインに舌鼓を打ち、



まつもと市民芸術館前にて



食事会場のヒカリヤニシ前にて

中でも長野県が開発し普及を目指す「信州大王イワナ」を使った食材も特別に取り入れ、工夫を凝らした献立を存分に楽しみました。

第42回日本・フィリピン合同医療奉仕活動に参加して

L.高島 陽子

初参加のフィリピン医療奉仕活動。ドアツードアで片道10時間足らず。宿泊先ホテルはごく快適。しかし、二日間のケアアクティビティは、通訳の方々に助けられながら、時間を忘れて動き求めに応じる。順番を待つ方々、ドクターを補佐、点眼薬や眼鏡、薬品やタオルなどをお渡しするに徹する。遠隔の現地へ長時間移動のバスから眺める農村田園風景も心に栄養、丸二日はあっという間に過ぎた。いまは貧しいけれど心豊かに暮らそうと願う人たちに、医療、公衆衛生、福祉の手助けとなる歴史ある活動に加われて財産を得た。

もうひとつ。女性活躍なんて言わなくてもフィリピンはワーキングウーマンが当たり前。指導的役割に女性がいるのもごく普通。当地のゾーンチェアパーソンなどを務める女性ライオンと親しく交流が始まり垣間見えた。フィリピンを途上国のままにしない、新興国とのお付き合いとしての貢献の意義を考えた貴重な五日間でした。



L.今井 剛

第42回日本・フィリピン合同医療奉仕活動は2月11日(土)～12日(日)に開催されました。

A班眼科チーム 医師L.池田芳良、L.加々井聡、L.吉村亮、L.堀込哲也、L.宮下芳一

B班内科チーム 薬剤師L.三戸部恵一

B班歯科チーム 医師L.富士原雅博

B班眼科チーム 医師L.北澤憲孝、L.赤羽豊喜、L.高島陽子、

私は、B班眼科チームに配属されました。長野白樺LC4名、須坂LC1名、長野山ノ内ゆけむりLC1名、軽井沢LC4名、通訳。

B班1日目はディナルピハンの公会堂で移動時間が往復8.5時間(往路3.5時間+復路5時間)で途中、物資トラック故障というアクシデントもありました。会場にはすでに大勢の人が待っていて、メンバーは手際よく準備を済ませ、2名の医師によりすぐに診察が行われました。どの医師(内科・歯科・眼科)も手際がよく・集中力に深く感銘しました。私は、目薬の担当で経験者による的確な指示のもと、袋づめ作業を行いました。

B班2日目はコモンウェルス、ケンソシティの小学校で行いました。出発の際、トラックがホテル出口で接触事故とのこと、またアクシデントが・・・

会場に到着するとすでに場外にも長蛇の列ができていました。現地ボランティア団体が誘導しており、当初は、医師L.北澤憲孝1名での対応でしたが、しばらくして現地スタッフ3名も合流して診察が行われました。先生方の体力には驚くばかりでした。

受診者数(全体)

内科チーム 1,992名 歯科チーム 1,170名

眼科チーム 2,525名 計 8,236名

医療奉仕活動は初参加でしたが、体験から学ぶことも多く今後の人生に生かしたいと思います。最後になりますが、このような機会を与えていただけたことに感謝を申し上げます。

家族合同クリスマス例会

会員厚生委員長 L.古木惣一郎



家族合同クリスマスパーティーが12月21日、ご来賓の長野みすずライオンズクラブ3名、L50名、LP9名、レオ13名の合計72名にて、華やかに開催されました。

はじめに、L.野村千津子をソングリーダーに、全員での「きよしこの夜」の合唱。鈴木秀一会長挨拶の後、信州大学吹奏楽団のサキソフォンにて、軽快なクリスマス音楽を楽しみました。その後、長野みすずLCの飯田重光会長の乾杯の音頭(=写真)にて開宴となりました。

当クラブの鈴木会長がサンタクロースに扮してステージに登場。レオにプレゼントを配った後、全員でビンゴゲームを楽しみました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、L.小林清伯の伸びのある歌声にリードされて「また合う日まで」を合唱して無事に閉会となりました。

最後に、関係者の皆様に心よりの感謝を申し上げます。



信州大学吹奏楽団の演奏

信州ブレイブウォリアーズB2リーグ公式戦」会場での 献血・薬物乱用防止アクティビティ報告

保健福祉委員長 L.鈴木 誠三郎

2月5日にホワイトリングで行われた、信州ブレイブウォリアーズのホームゲームは過去最多の3,934名の観戦となり、賑わいのある中での献血アクティビティとなりました。

コンパクトな敷地内でとても動きやすく、時間も3時間程度で効率もよく、何よりもブレイブウォリアーズのグッズがもらえる抽選会が功を奏し、受付54名、400ml=32名で12,800mlの実績となりました。

献血センターも今回のようなバスケットボールの試合会場での献血は初めてで、「以前行ったサッカー会場以上に効率が良く、受付しきれない状況であったので、次回から受付体制の人数を増やし備えたい。」とのことでした。

今回のアクティビティに全面的なご協力をいただいたホームゲーム主催者のL. 楠木、そして寒い中ご参加いただいたライオンの皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。



新会員紹介



入会式:
2016年10月26日
L.北澤 憲孝

ゲストスピーチ



2016年10月12日
10月第一例会
長野県警 警務部
主席幹事官兼会計課長
山口 一平様



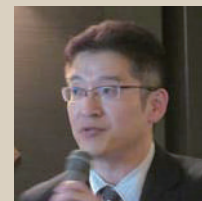
10月26日
10月第一例会
ライオンズクラブ
国際協会334-E地区
2Rライオンズクエスト
特別委員
L.飯田 重光



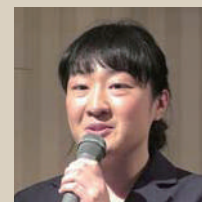
10月26日
10月第一例会
ライオンズクラブ
国際協会334-E地区
長野県連携協定推進室
室長
L.北川 哲男



11月9日
11月第一例会
自衛隊長野協力本部長
一等陸佐
後藤 孝様



11月24日
11月第一例会
パナソニック(株)
エコソリューション社
エナジー事業部 主務
稲垣 元裕様



2017年1月25日
1月第一例会
元県青年海外協力隊員
(セネガル報告)
内村 知子様



2月8日
2月第一例会
ヨガ療養士
青木 芽里様